

**答弁** 地域づくりと人づくりは生涯学習推進にある。各種講座、サークル活動を活発化し、生涯学習活動の機運が高まっている。

今後市民サポートセンターを中心に公民館利用体制を整備し、進めたい。

**質問** 地域経済基盤づくりは、農業振興になる。担い手を育成し、農業を安定し地域活性化につなげる。

そのため担い手に希望を与えるため職員の役割と農家の意識改革が必要と思うが、市長の考えを伺う。

**答弁** 地域経済基盤づくりは、農地集約、大規模化、食品加工業、観光業と連携強化、産業全体の良質な労働をめざす。

更に、農産物のブランド化をめざし行政のコーディネートが必要である。総合産業研究所を稼働したい。

**質問** 神代地域は診療所（伊藤先生）の医療、デイサービスセンター、民間施設等福祉は充実している。

ただ高齢者自ら生き甲斐を感じる体制が十分でなく、若年転出した若者が、老後故郷に帰り、生活したくなる高齢者に優しいまちづくりが、市長が目指す市民協働と思うが、その取組みについて伺う。

**答弁** 福祉と生きがづくりについて、第4期仙北市高齢者福祉計画をまとめ、基本理念、安心して暮らせる環境づくりの為、40の基本項目を挙げ高齢者社会参加、高齢者が支え合う友愛活動、安否確認、訪問活動に取り組む。

相談相手、話し相手のいない高齢者の孤立を防ぎ、健康で働く意欲ある高齢者にシルバー人材センターを通じ、就労支援を実施していきたい。



高齢者にやさしいまちづくりの条件となる医療施設（神代診療所）

## 仙北市のめざす農業は！ あらゆる方策を考えたい



### 大石 温基

**質問** 私の一般質問は仙北市の目指す農業とゴミの収集、観光と農業の結びつきについて市長の考えを伺うものである。

ゴミの収集であるが、最近では不法投棄や野焼きが減っている。これは行政の対応が市民に、徐々に行き届いてきているからだ。しかしまだ農業用

う。私は産地間競争に勝てる農業にするには、全国一律の農政では勝つことが難しいと考える。適地適作の農業政策が必要と思うがどうか。また技術指導や販売先の確保あるいは市場の情報収集など、行政が農家を引っ張る農政を展開できないか伺いたい。

**答弁** 指摘の通り、地域に見合う農業政策は欠かせないと考えている。あらゆる方策を考えたい。また流通や市場の開拓ができる専門知識のある人達の協力も必要である。私のトップセールスで可能性を掘り起こしたい。

**質問** 市として「めざす農業」をしっかりと定めるべきでないか。その場合、県やJA、市が一体となって、熱意を持って対応することが必要であり、行政が力ギを握ると思うがどうか。

**答弁** 目標に向かって進む態勢をあらたに構築したい。今後新しい体制で新しい事業に取り組みたいと考える。

**質問** 観光と農業の結びつきについて伺う。

観光客の入りこみ数は落ち込んでいるが、仙北市はまだ恵まれている。ホテルや食堂の食材の地元産利用について市長はどのように考えているか。

**答弁** 観光については市民全体で取組むべきと考えている。「食」の提供は、安全で安心な食事であればならない。

地元産物の利用量については実態調査が必要である。さらに生産者と消費者（利用者）の話し合いが必要と考える。

**質問** 観光客の動態は、安い料金設定であり、安い商品を求める傾向にある。生産者もコスト削減で安く作ることを考えている。

食べる人はさらに安いものになる可能性が高い。

**答弁** このような状況下の対応をどのようにするか。最近、官の技術指導力が下がってきている。技術指導を強